

平成22年度

茨城県看護協会総会特集号

平成22年 5月20日

社団法人茨城県看護協会
水戸市緑町 3-5-35

TEL 029-221-6900
発行人 会長 村田昌子

平成22年 6月26日(土) 9:30~15:30 茨城県立県民文化センター 小ホール

平成22年度 社団法人茨城県看護協会 通常総会

通常総会プログラム

9:00	開場	第二号議案	平成21年度決算報告並びに監査報告(案)
9:25	オリエンテーション	第三号議案	新たな社団法人の骨子について(案)
9:30	開会 (物故会員黙とう) 会長あいさつ 来賓祝辞 祝電披露 優良看護職員茨城県看護協会会長賞表彰 お礼のことば	第四号議案	会館維持費にかかる定款改正について(案)
		第五号議案	茨城県看護研修センターの拡張について(案)
		第六号議案	平成22年度スローガン(案)
		第七号議案	平成22年度事業計画(案)
		第八号議案	平成22年度予算(案)
		第九号議案	平成22年度役員・職能委員並びに推薦委員の選任
		第十号議案	平成23年度日本看護協会通常総会代議員の選出について(案)
10:10	議長団選出 議事録署名人の決定 平成21年度通常総会議事録朗読 理事会報告 職能委員会報告 保健師職能委員会 助産師職能委員会 看護師職能委員会 常任委員会・特別委員会・地区活動報告 平成22年度日本看護協会通常総会代議員報告		新任役員・新職能委員・新推薦委員紹介 退任役員等への謝辞 退任役員代表者あいさつ — 休憩 —
10:45	公益法人制度改革について 提出議案審議 第一号議案 平成21年度事業報告	14:00	特別講演 「“いい人生やった” その一言のために」 ～地域で生き、地域で逝く人々を支える医療～ 講師 中村 伸一 福井県国民健康保険 名田庄診療所 所長
		15:30	閉会
		15:30~17:00	各職能集会

平成22年度社団法人茨城県看護協会役員・職能委員・推薦委員候補者一覧 ※平成21年度推薦委員会から選出された各候補者は下記のとおり

第一副会長(定数1名) 改選(1名)			
役職名	氏名	現任	所属
第一副会長	鈴木 君江	現	厚労省関東信越厚生局茨城事務所
専務理事(定数1名) 改選(1名)			
役職名	氏名	現任	所属
専務理事	太布 和子	現	茨城県看護協会
常任理事(定数2名) 改選(1名)			
役職名	氏名	現任	所属
常任理事	小角 和子	新	フットケア La・Vien ひたち
助産師職能理事(定数1名) 改選(1名)			
役職名	氏名	現任	所属
助産師職能理事	榎谷 厚子	新	水戸済生会総合病院
看護師職能理事(定数1名) 改選(1名)			
役職名	氏名	現任	所属
看護師職能理事	江幡 恵子	新	総合病院土浦協同病院
理事(定数5名) 改選(2名)			
役職名	氏名	現任	所属
理事	岡根 せつ子	新	小美玉市
理事	藤田 けい子	新	水戸赤十字病院
地区理事(定数7名) 改選(4名)			
役職名	氏名	現任	所属
地区理事(水戸・ひたちなか)	原田 良子	現	総合病院水戸協同病院
地区理事(日立・常陸大宮)	金子 美智子	現	㈱日立製作所日立総合病院
地区理事(鉾田・潮来)	後藤 みよ	新	白十字総合病院
地区理事(竜ヶ崎)	佐瀬 悦子	現	佐瀬トータルケアセンター
監事(定数1名) 改選(1名)			
役職名	氏名	現任	所属
監事	浅野 俊文	現	—

保健師職能委員(定数6名) 改選(4名)			
役職名	氏名	現任	所属
保健師職能委員	鎌田 幸子	新	つくば地域包括支援センター
保健師職能委員	中山 聡子	新	全国健康保険協会茨城支部
保健師職能委員	鈴木 浄	現	筑西市健康増進部
保健師職能委員	田邊 好美	新	ひたちなか保健所
助産師職能委員(定数8名) 改選(3名)			
役職名	氏名	現任	所属
助産師職能委員	遠藤 香織	新	総合病院土浦協同病院
助産師職能委員	長沼 順子	現	水戸済生会総合病院
助産師職能委員	加司山 良子	現	水戸赤十字病院
看護師職能委員(定数9名) 改選(5名)			
役職名	氏名	現任	所属
看護師職能委員	穴戸 正子	新	総合病院土浦協同病院
看護師職能委員	青木 正志	新	茨城県立中央病院
看護師職能委員	大森 友子	現	㈱日立製作所日立総合病院
看護師職能委員	鈴木 恵美子	新	鹿島労災病院
看護師職能委員	吉澤 京子	現	茨城西南医療センター病院
推薦委員 改選(6名)			
役職名	氏名	現任	所属
推薦委員	大竹 由美子	新	潮来保健所
推薦委員	中川 洋子	新	土浦市役所
推薦委員	菅谷 周子	新	つくばセントラル病院
推薦委員	深澤 千映子	新	総合病院土浦協同病院
推薦委員	湯本 しのぶ	新	ホスピタル坂東
推薦委員	大平 裕子	新	㈱日立製作所多賀総合病院

看護の輪を広げよう ひとりの力を組織の力に

<趣 旨>

近年の医療を取り巻く環境は、誰もが経験したことのない急速な少子高齢社会の進展、がんや循環器疾患等の生活習慣病の増加による疾病構造の変化、医学・医療技術の進歩による医療の高度化・先進化、さらに情報技術の発達による情報社会の高度化などの大きな変化が見られます。

私たち看護職は、県内どの地域どの施設においても、保健医療に対する多様な県民ニーズに対応するため、県民に満足のいく質の高い看護を提供していかなければなりません。厚労省の「チーム医療の推進に関する検討会」の議論にありますように、チーム医療に関しては、今後ますます議論が深められていくことになると考えます。

これらのことから、看護職は自らが専門職としての力量を高め、将来を見据えて多くの関係者と手を携えて活動していく環境を意識して整備していかなければなりません。

また、新たな社団法人として茨城県看護協会が保健・医療・福祉分野において、看護職の職能団体としての力を最大限に発揮していくためには、組織としての使命、事業、組織の運営のあり方等について、会員総意のもとに一丸となって取り組むことが重要であることから、今年度の総会には新たな社団法人の骨子について提案いたしました。

ひとりの力は、小さな力であっても皆さんの力が結集することにより、大木になると確信しております。看護の輪を広げましょう。

平成22年度 事業計画(案)

<重点事項>

- 1 活力ある組織の強化
- 2 生涯教育の充実・強化
- 3 魅力ある環境づくりによる看護職定着の促進
- 4 安全な看護の提供と質の向上
- 5 訪問看護の推進と安定的なサービス提供体制確保
- 6 県民への保健・医療・福祉サービスの推進

I 組織に関する事業

I-1 看護職能団体としての組織強化

目 標	活 動	予算(千円)
1. 職能団体としての組織・運営強化	1) 会員数の増加・拡大(組織率目標:50%) ① 未加入施設への広報 ② いばらき看護職進学・就職説明会 ア 平成22年4月29日 於:つくば国際会議場 イ 平成22年5月9日 於:水戸プラザホテル 2) 通常総会の開催:平成22年6月26日(土) 9:30~15:30 於:県民文化センター 小ホール 3) 日本看護協会との連携 ① 総会参加 平成22年6月8日(火)~9日(水) 場所 横浜アリーナ ② 全国職能別集會参加 平成22年6月10日(木) 場所 横浜アリーナ ③ 審議員会 ④ 法人会員会(地区別含む) ⑤ 都道府県職能委員長会議 ⑥ 日本看護協会が開催する各種担当者会議(9会議) 4) 新:公益法人改革に関する周知 5) 事務局機能の整備・充実 新:会館拡充に関する検討プロジェクト委員会(案)設立	5,800
2. 円滑な組織運営	1) 常務理事会・理事会 2) 職能委員会 3) 常任・特別委員会 4) 地区懇談会	4,000
3. 会員登録に関する管理	1) 継続登録会員の管理 2) 新入会員の登録管理 3) 会員システム(JNAS)の運用、管理 4) 会員からの管理に関する照会への対応	200
4. 日本看護学会・研修等	1) 第41回 日本看護学会一母性看護一学術集會 平成22年7月29日・30日 場所 つくば国際会議場	7,200
5. 政策への提言	1) 日本看護協会、茨城県保健福祉部との懇談会、関係団体への要望書提出 ① 看護職定着・教育研修・訪問看護等に関すること 2) 関連審議会等への意見反映 茨城県総合計画審議会・医療審議会・社会福祉審議会等	100
6. 看護制度に関すること	1) 要望等	100
7. 広報・渉外に関すること	1) 広報活動 ① 会員との双方向広報の推進(機関紙「看護いばらき」発行) ② 協会「公式ホームページ」の運営 ③ 本会関連冊子の制作と普及(マスコミ向けの本会活動案内) 2) 重点事業の広報活動 ① 魅力ある環境づくりによる看護職定着の促進	200

目 標	活 動	予算(千円)
7. 広報・渉外に関すること	3) 「看護の日・看護週間」行事充実による「看護の心」普及促進(再掲) ① 看護の祭典 平成22年5月23日(日) 場所 県民文化センター 大ホール ② 救急看護 主催:茨城県看護協会・筑波大学・筑波大学附属病院臨床看護教育センター BLS、ACLS、PALS ③ 一日看護体験・進路相談の開催 ④ 看護エッセー募集・表彰 ⑤ 出前授業推進(中学校・高等学校等) 4) 未加入者への広報(再掲) 5) 愛の募金活動	200
8. 地域における地区活動の充実	1) 地域関係団体との連携 2) 地区活動の充実	200
9. 関係団体との連携促進	1) 行政機関・医療関係団体等との連携・協働事業の推進	300

I-2 情報提供及び意見収集体制

目 標	活 動	予算(千円)
1. 会員への情報提供及び意見収集体制の充実	1) 地区別懇談会 ① 水戸・ひたちなか、日立・常陸大宮地区:9月9日(木)13:30~ 場所 看護協会看護研修センター ② 鉾田・潮来地区:9月5週目 予定 ③ 竜ヶ崎、土浦、つくば・常総地区:10月2週目 予定 ④ 筑西・古河地区:10月3週目 予定 2) 協会活動及び看護の動向に関する情報提供の充実 ① 協会活動の広報・案内(再掲) 「看護いばらき」「ホームページ」等の充実	3,700
2. 会員相互の親睦の促進	1) 会員相互の親睦を深める機会の充実 ① 新年のつどい 平成23年1月予定	500

I-3 協会立訪問看護ステーション事業の運営

目 標	活 動	予算(千円)
1. 協会立訪問看護ステーション事業の充実	1) 事業所 ・土浦訪問看護ステーション ・鹿嶋訪問看護ステーション 2) 看護職員等の専門的な資質の向上	75,000

II 施設管理・運営に関すること

目 標	活 動	予算(千円)
1. 会館の維持管理運営の円滑化	1) 建物・諸設備等の保守管理 2) 適切な経常経費の運用 3) 健全な財産管理の実施 4) 会館管理委員会への出席	7,000
2. 施設の貸与事業	1) 会議室・研修室の貸出	-

III 会員支援事業

III-1 看護の専門性の確立と生涯学習の支援

目 標	活 動	予算(千円)
1. 卒後研修の支援	1) 新人看護職員の卒後臨床研修の充実 ① 新人看護職員研修 ② 新：研修責任者研修 ③ 新：多施設合同研修 2) 継続教育の推進 ① 看護の専門領域の知識や技術を深め、安全で安心な看護実践が展開できる能力を養う ② 最新の情報と幅広い知識を習得し、看護活動に役立てる能力を養う ③ 看護の継続教育のあり方を理解し、教育的能力を養う ④ 看護実践に活用できる研究的視点や能力を養う ⑤ 看護管理者としての役割を遂行できる能力を養う ⑥ 最新の医療・看護の動向を習得するトピックス研修 ⑦ 衛星通信研修の拡大・充実 3) 救急ライセンス研修 ① 新：BLS（一次救命処置）研修 ② ACLS（二次救命処置）研修 ③ 新：PALS（小児二次救命処置）研修 4) 実習指導者講習会 5) 看護研究の充実 ① 第41回日本看護学会－母性看護－学術集会 平成22年7月29日(木)・30日(金) 場所 つくば国際会議場 ② 看護研究学会 平成23年2月19日(土) 場所 県民文化センター 小ホール ③ 地区主催事例発表会開催（地区研修の支援等） ④ 看護研究の促進（サポート体制の充実） 6) 看護基礎教育担当者と臨床担当者の交流研修開催 7) 新：研修システム導入→研修履歴管理 8) 図書サービスの充実 ① 図書資料の充実 ② 利用者サービスの向上（全蔵書データの登録及び配架リニューアル） ③ 文献検索指導及び情報の提供	33,000
2. 看護管理者及びキャリアアップの学習支援	1) 認定看護管理者教育課程 ① ファーストレベル 平成22年6月～半年間 ② セカンドレベル 平成22年6月～半年間 ※ 看護管理者のためのセカンドレベル公開講座 ※ セカンドレベル修了者フォローアップ研修 ③ 認定看護管理者教育運営委員会の開催	9,900
3. 看護職員の就業環境改善の促進	※ 人材確保対策の推進 1) 魅力ある職場環境づくり支援 ① 看護職員定着促進コーディネーターの施設派遣 ② 新：新人看護職員研修推進アドバイザー派遣 ③ 新：管理者研修（多様な勤務形態導入研修） ④ 新：看護職員人材確保支援事業	101,020
4. ナースセンター事業の充実	1) ナースセンター事業 ① データーバンク・就業斡旋・電話相談 ② 専任相談員による就業相談 ③ ハローワークとの連携・強化 ④ 就業紹介者動向調査 ⑤ 新：出張ナースバンク事業 2) 再就業支援 ① 再就業促進に向けて研修内容等企画・評価会議 ② 再就業支援研修 3) 未就業看護職員把握事業（看護師等養成所卒業生を対象）	22,980
5. 看護職の活動の充実	1) 保健師職能集会・研修等 2) 助産師職能集会・研修等 3) 看護師職能集会・研修等 4) 准看護師の進学支援・研修等の強化 5) 地区における研修等	1,000

III-2 安全な看護の提供と質の向上

目 標	活 動	予算(千円)
1. 医療安全対策の推進	1) 組織全体で取り組む医療安全対策の充実 ① 医療安全研修会の開催（茨城県と共催） 平成23年2月6日(日) 場所 県民文化センター 大ホール 2) 施設の医療安全管理者の資質の向上と支援体制の促進 ① 医療安全管理者への情報提供と意識啓発 ② 医療安全管理者間の情報交換と啓発活動、ネットワークづくり	500
2. 事故防止のための普及・啓発活動	1) 事故事例の分析と課題の検討 2) 事故防止技術の開発・普及 3) 事故防止方法等の広報	500
3. 労働安全対策の推進	1) 看護職に対する暴力への対応方法等の研修	200

III-3 訪問看護の推進と安定的なサービス提供

目 標	活 動	予算(千円)
1. 訪問看護事業の推進	1) 新：訪問看護の新たなしくみに関する事業 2) 訪問看護サポートセンター事業の推進（モデル事業2年目） 3) 訪問看護師養成講習会 4) 医療機関・訪問看護ステーション相互研修	16,320
2. 訪問看護関連団体との連携・強化	1) 茨城県訪問看護推進協議会の開催	100
3. 介護福祉施設等の看護の充実	1) 新：介護福祉施設等の看護の実態把握・分析 2) 介護福祉施設等看護職研修会（高齢者権利擁護実務者研修）	750

III-4 会員の身分に関する支援

目 標	活 動	予算(千円)
1. 会員の身分に関する支援の推進	1) 「看護職賠償責任保険制度」加入の推進	100

III-5 会員のための福利厚生

目 標	活 動	予算(千円)
1. 会員のための福利厚生の充実	1) 表彰 ① 優良看護職員表彰関連等 ② 日本看護協会会長賞・厚生労働大臣賞推薦等 2) 会員の慶弔等への対応	100

IV 県民への保健・医療・福祉サービスに関する事業

IV-1 県民への保健・医療・福祉サービスの推進

目 標	活 動	予算(千円)
1. 県民に対する看護の普及活動	1) 看護週間の行事 ① 看護の祭典 平成22年5月23日(日) 場所 県民文化センター 大ホール ② 一日看護体験・進路相談の開催 ③ 看護エッセー募集・表彰 2) 地域住民への看護の仕事に関する広報活動の強化	6,800
2. 県民のための健康相談及び知識の普及	1) 健康相談事業の充実 「まちの保健室」事業拡大の検討 ① 事業拡大検討会開催（他団体との連携） ② 地区活動の充実・強化 2) 健康・医療・安全に関する知識の普及・啓発 ① 健康に関する公開講座・情報提供 ② 効果ある生活習慣病予防活動の推進（特定保健指導コンサルテーション事業） ③ 出前授業推進	2,500
3. 次世代育成対策の普及	1) 母子保健センター相談事業の推進 ・母子保健事業関係機関等のネットワークづくり・研修 ・発達障害指導者研修 2) 青少年健康教育出前講座 3) 第41回 日本看護学会－母性看護－学術集会の一般公開	4,200
4. 災害時救護体制の確立	1) 災害時救護体制の確立 ① 茨城県原子力総合防災訓練・茨城県総合防災訓練への参加・協力 ② 災害支援ナースの登録推進・研修会開催・必要時派遣 ③ 日本看護協会との法人会員ネットの活用による訓練 2) 県内災害情報の共有 ① 災害発生時の連絡体制の整備 ② 関係機関、行政との連携	300



平成22年度収支予算（案）の概要

《平成22年度予算編成方針》

平成22年度予算は以下の4点に留意し措置した。

- ① 平成22年度事業計画の内容に見合う予算とする。
- ② 看護協会に求められる役割を十分に果たすため、新規県委託事業等の予算を積極的に計上する。
- ③ 土浦訪問看護ステーションの事務所移転に係る予算を計上する。
- ④ 定例的な事業は、平成21年度決算額に準じた予算額とする。

【一般会計】

I 事業活動収支の部

1 事業活動収入として289,873千円を計上

- (1) 会費収入は、会員数11,600人を見込み58,000千円を計上した。
- (2) 茨城県委託事業収入は、前年度比2.9倍増の177,471千円を計上した。
内訳は、看護職員ブラッシュアップ事業11,360千円、ナースセンター事業38,309千円、母子保健センター相談事業4,093千円、訪問看護サポートセンター事業14,000千円等。このほか、経済危機対策（雇用対策）関連事業として、未就業看護職員把握事業13,372千円、看護職員人材確保支援事業93,782千円を計上した。
- (3) 事業収入は、受講料収入40,000千円を計上した。
- (4) 日本看護協会助成金収入として9,000千円を計上した。

2 事業活動支出として295,536千円を計上

- (1) 事業費支出は、38,615千円（茨城県委託事業を除く。）を計上した。
内訳は、教育研修事業19,000千円（茨城県委託事業を除く。）、看護普及事業7,700千円、地区活動事業2,500千円、日本看護協会協力事業800千円、日本看護研究学会事業6,815千円等
- (2) 茨城県委託事業費支出は、177,471千円を計上した。
- (3) 管理費支出として79,450千円を計上した。
内訳は、役員報酬、給料手当等人件費48,000千円、福利厚生費6,500千円、会館運営費6,300千円、会議費6,500千円等

【看護研修センター維持特別会計】

I 事業活動収支の部

1 事業活動収入として33,000千円を計上

会館維持費収入は、納入対象の会員数2,700人を見込み32,400千円を計上した。

2 事業活動支出として4,000千円を計上

センター維持事業費支出は、施設整備費3,000千円、事務費1,000千円を計上した。

【土浦訪問看護ステーション特別会計】

I 事業活動収支の部

1 事業活動収入として52,675千円を計上

事業収入は、52,170千円を計上した。
内訳は、介護保険報酬33,354千円、医療保険報酬17,952千円等

2 事業活動支出として55,970千円を計上

事業費支出は、55,970千円を計上した。
内訳は、給料手当等人件費36,700千円、福利厚生費4,600千円、賃借料3,580千円等。このほか、事務所移転に伴う支出として、施設維持費1,600千円、事務所移転費3,500千円等

3 投資活動支出として15,332千円を計上

固定資産取得支出として12,800千円を計上した。
内訳は、事務所移転に伴う建物附属設備購入費（新事務所内装改修工事費）10,000千円及び什器備品購入費1,800千円等。

【鹿嶋訪問看護ステーション特別会計】

I 事業活動収支の部

1 事業活動収入として35,641千円を計上

事業収入は、35,571千円を計上した。
内訳は、介護保険報酬24,811千円、医療保険報酬10,560千円等

2 事業活動支出として34,200千円を計上

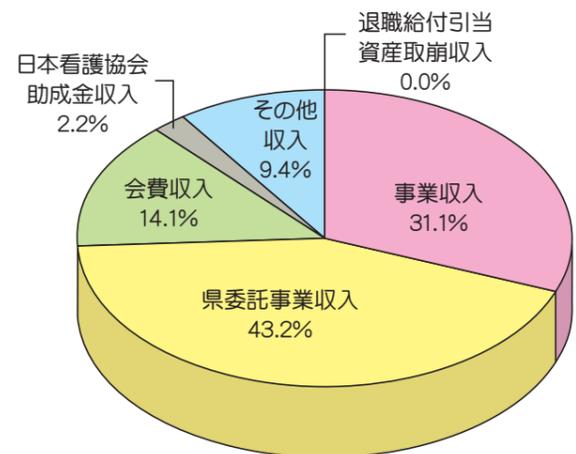
事業費支出として、34,200千円を計上した。
内訳は、給料手当等人件費25,000千円、福利厚生費3,500千円、賃借料1,750千円

収支予算書総括表 平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	一般会計	看護研修センター維持特別会計	土浦訪問看護ステーション事業特別会計	鹿嶋訪問看護ステーション事業特別会計	内部取引	合 計
I 事業活動収支の部						
1 事業活動収入						
会費収入	58,000					58,000
県委託事業収入	177,471					177,471
事業収入	40,000		52,170	35,571		127,741
日本看護協会助成金収入	9,000					9,000
その他収入	5,402	33,000	505	70		38,977
事業活動収入計	289,873	33,000	52,675	35,641	0	411,189
2 事業活動支出						
事業費支出	38,615	4,000	55,970	34,200		132,785
県委託事業費支出	177,471					177,471
管理費支出	79,450					79,450
事業活動支出計	295,536	4,000	55,970	34,200	0	389,706
事業活動収支差額	△ 5,663	29,000	△ 3,295	1,441	0	21,483
II 投資活動収支の部						
1 投資活動収入						
退職給付引当資産取崩収入	0					0
投資活動収入計	0	0	0	0	0	0
2 投資活動支出						
引当資産取得支出	15,510		2,532	3,972		22,014
会館維持積立資産取得支出		30,000				30,000
その他支出	0	6,000	12,800	200		19,000
投資活動支出計	15,510	36,000	15,332	4,172	0	71,014
投資活動収支差額	△ 15,510	△ 36,000	△ 15,332	△ 4,172	0	△ 71,014
III 財務活動収支の部						
1 財務活動収入						
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0
2 財務活動支出						
財務活動支出計	0	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0
IV 予備費支出	300	100	150	100	0	650
当期収支差額	△ 21,473	△ 7,100	△ 18,777	△ 2,831	0	△ 50,181
前期繰越収支差額	28,454	35,212	27,942	36,373	0	127,981
次期繰越収支差額	6,981	28,112	9,165	33,542	0	77,800

【収入の部（各会計の合計）】



【支出の部（各会計の合計）】

